

▽ 江上幹幸 教授 EGAMI, Tomoko



学 科：社会文化学科

担当科目：南島先史文化特殊研究Ⅰ・Ⅱ、  
南島先史文化特論Ⅰ、  
フレッシュマン・セミナー、文化人類学概論、  
考古学概論、アジア考古学

学歴等のプロフィール

- ①【主要学歴】 ②【学位】 ③【所属学会】 ④【主要な社会的活動】

- ①青山学院大学大学院文学研究科史学専攻博士課程単位取得退学  
②修士  
③日本考古学協会・東南アジア考古学会・日本文化財科学会・沖縄考古学会  
④東南アジア考古学会会長・日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員・宜野湾市史編纂委員・  
沖縄考古学会副会長 宜野湾市立真志喜中学校評議員

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践 1) 文化人類学概論	1999年10月～	後期、総合文化学部社会文化学科、講義、専門科目、2単位、16回、120人、パワーポイントを使用し、映像を組み合わせながら、視覚的にとらえやすい授業形態をめざす。
2) フレッシュマンセミナー	1999年4月～	1999年度、1年生演習、20人～22人、統一テーマでのグループ(3人)発表。年度末に報告書作成 1999年度「沖縄の漁撈」、2000年度「沖縄の農業」、2003年度「」、2004年度「沖縄の基地」、2005年度「泡盛」、2006年度「沖縄の料理」、2007年度「宜野湾」、2008年度「沖縄と海」、2009年度「沖縄の織物」、2010年度「沖縄の植物」、2011年度「沖縄の動物」

<p>3)論文審査</p> <p>6)その他</p>	<p>1999年～</p>	<p>修士論文審査(地域文化研究科南島文化専攻)</p> <p>ゼミ科目における実地見学、および先輩の授業参加。</p> <p>TA・SAによる授業サポート。</p>
<p>2.教科書・教材・参考書</p> <p>3)考古学概論 文化人類学概論</p> <p>考古学特論 アジア考古学</p>	<p>1999年～2011年</p> <p>2000年～2011年</p>	<p>図書、web上などから最新の研究状況を盛り込み、配布資料を精選し、学生に配布している。講義内容はパワーポイントで作成し、適宜配布している。</p> <p>1999年度に『クジラと生きる』(中公新書)(共著)を出版し、参考資料として使用している。</p> <p>2011年『塩の生産と流通』(雄山閣)(共著)を出版し、参考資料として使用している。</p>
<p>3.学生支援活動</p> <p>1)学習支援</p> <p>2)生活支援</p> <p>3)キャリア支援</p> <p>4)部活動</p>	<p>1999年～</p> <p>2001年～</p>	<p>オフィスアワー</p> <p>ゼミ生(1年次)の履修指導、学生生活の指導</p> <p>エイサー団体琉球古舞団浦風顧問</p> <p>ペーパークラフト顧問</p> <p>活動のアドバイスおよび学生生活の指導</p>
<p>4.学外での教育活動</p> <p>2)研修・講座講師</p>	<p>2011年11月12日</p>	<p>宮古島市総合博物館市民講座</p>
<p>5.教育改善活動</p>		

## 研究業績等

### 【 主要論文及び主要著書 】

- ① 「インドネシアのドルメン」 八幡一郎・田村晃一 『アジアの巨石文化-ドルメン・支石墓考-』 137-166 六興出版 1990
- ② 小島曠太郎・江上幹幸 『クジラと生きる』 中公新書 1999
- ③ 「宮古島アラフ遺跡のシャコガイ製貝斧と利器-貝斧埋納遺構の考察を中心に-」 『南島考古』 26号 305-326 沖縄考古学会 2007.
- ④ 「インドネシア・ラマレラ村の捕鯨と近代化、江上幹幸」 『文化遺産の世界』 24号 14-17 国際航業株式会社 2007.
- ⑤ 「東部インドネシアの製塩-フローレス島東部地域の製塩形態-」 『東南アジア考古学』 28号 125-142 東南アジア考古学会 2008.
- ⑥ 総説、江上幹幸、江上幹幸監修 『布と暮らす人たち - 東部インドネシアのイカッター』 104-111、114-130 杉野学園出版部 2008.
- ⑦ 「東部インドネシアの製塩-ティモール島の製塩形態-」 『東南アジア考古学報告-東南アジアの生活と文化 II -塩の生産と流通-』 39-49 7号 東南アジア考古学会 2009.
- ⑧ 「布と暮らす人たち-東部インドネシアのイカッター」 南風原文化センター編 『アジア・沖縄織りの手技-布が彩る島々の暮らし』 10-17 南風原町立南風原文化センター 2010.
- ⑨ 「インドネシア、ラマレラ村 16年間の捕鯨記録と分析（Ⅰ）-1994～2009年-」 江上幹幸・小島曠太郎共著 『社会文化研究』 12-1号 1-32 沖縄国際大学、2010.
- ⑩ 「インドネシア・ラマレラ村の捕鯨文化とその変化」 『海民・海域史からみた人類文化』 国際シンポジウム報告書 I 41-49 国際常民文化研究機構・神奈川大学日本常民文化研究所 2010
- ⑪ 「インドネシア、ラマレラ村 16年間の捕鯨記録と分析（Ⅱ）-2010年の捕鯨記録と将来の展望-」 江上幹幸・小島曠太郎共著 『社会文化研究』 12-2号 65-94 沖縄国際大学 2011

## 研究分野

沖縄およびインドネシアの民族考古学。

宮古島アラフ遺跡発掘調査（2000年から2006年まで8次調査）。

インドネシア・レンバタ島ラマレラ村で1993年から現在まで捕鯨文化の調査を継続的に実施。

東インドネシア地域で原始的な方法で生産されている塩の製塩法について継続的に調査。

インドネシア・ティモール島（西ティモール）で“生きている巨石文化”の継続的に調査。

西太平洋島嶼地域における干潟利用の製塩・採塩の立地、生物利用の調査。

### 【Eメール・ホームページ等】

平成 23年 10月 24日現在